

流域モニタリング一斉調査結果（尾張地域）

1 背景

- ・ 県民一人ひとりが、人間活動と水循環など環境とのかかわりを正しく理解し、自ら環境に配慮した行動をするためには環境学習の果たす役割がきわめて重要です。
- ・ この環境学習は、子どもたちが水や自然と触れたり、遊んだりする機会をより多く創出することにより、その中で水や自然の大切さや人と自然との共生について学んでもらうためのものです。
- ・ 身近な水辺に興味を持ってもらうため、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」（平成 19 年 7 月作成）を活用して、「流域モニタリング一斉調査」を平成 21 年度から実施しています。
- ・ この調査は水循環再生に向けた取組の評価や見直しに活用するだけでなく、流域全体の状況把握や流域内の連携向上を期待しています。

2 参加者公募状況

- ・ 幅広い県民を対象に流域モニタリング一斉調査の参加を促すため、事務局（県環境部水地盤環境課）が 3 月に参加者募集の記者発表を行いました。
- ・ また、市町村宛に、この調査の参加者を公募するよう依頼を行いました。
- ・ その結果、44 の市町村が、広報、ホームページ、チラシ等を活用して公募を行いました。

表 1 公募状況

地域名	広報	ホームページ	ちらし	広報+ホームページ 広報+ちらし 広報+ホームページ+ちらし	その他	合計
尾張地域	8	5	2	5	0	20
西三河地域	9	1	1	6	0	17
東三河地域	3	1	1	2	0	7
合計	20	7	4	13	0	44
参考(平成 26 年度)	23 (9)	6 (4)	2 (2)	8 (2)	0	37 (17)
参考(平成 25 年度)	21 (7)	5 (4)	5 (3)	9 (2)	1 (1)	41 (17)

括弧内は、尾張地域の状況を示す。

< 広報参考例 >

流域モニタリング一斉調査の参加者を募集します

流域モニタリング一斉調査とは、森から海までの流域全体を視野に入れ、水循環の現状とその変化を把握するため、県民・事業者・民間団体・行政が協力して流域の水循環の状況を県内全域で調査するものです。

▼対象 県内にお住まいのどなたでも ※子どもだけの調査は危険なため、保護者同伴で参加 ▼調査時期 6月5日(環境の日)～9月末(期間内に調査ができない場合は時期をずらしての調査も可能) ▼調査内容 身近な水辺(河川、湖沼、海、水路、ため池など)で「水質」「水量」「生態系」「水辺の親しみやすさ」についての調査 ▼募集期間 5月7日(木)～15日(金) ▼申込・問合せ 生活環境課(本庁舎)

○流域モニタリング一斉調査の参加者を募集します

森から海までの流域全体を視野に入れ、水循環の現状とその変化を把握し興味を持っていただくために、県民・事業者・民間団体・行政が協力して流域の水循環の状況を県内全域で調査するものです。このたびは、参加者(グループ)を次のとおり募集します。対象/どなたでも(ただし、子どもだけの調査は危険なため、保護者と一緒に参加してください)

調査時期/6月5日(金・環境の日)から9月下旬まで(一斉に調査を行うことで、県内全域の水循環を知ることができるので、できるだけ7月下旬から8月上旬に調査を行ってください)

調査内容/身近な水辺(河川、湖沼、海、水路、ため池など)で「水質」「水量」「生態系」「水辺の親しみやすさ」について調査を行い、報告する。

申込期限/5月29日(金)まで
問合せ/環境課(内線15)

広報清須 5月号

広報かにえ 5月号

3 参加の状況について

地域名	実施状況			
	市町村数	参加団体数	延べ参加人数	延べ調査地点数
尾張地域	11	63	660	88
西三河地域	11	55	443	106
東三河地域	5	9	104	19
合計	27	127	1,207	213

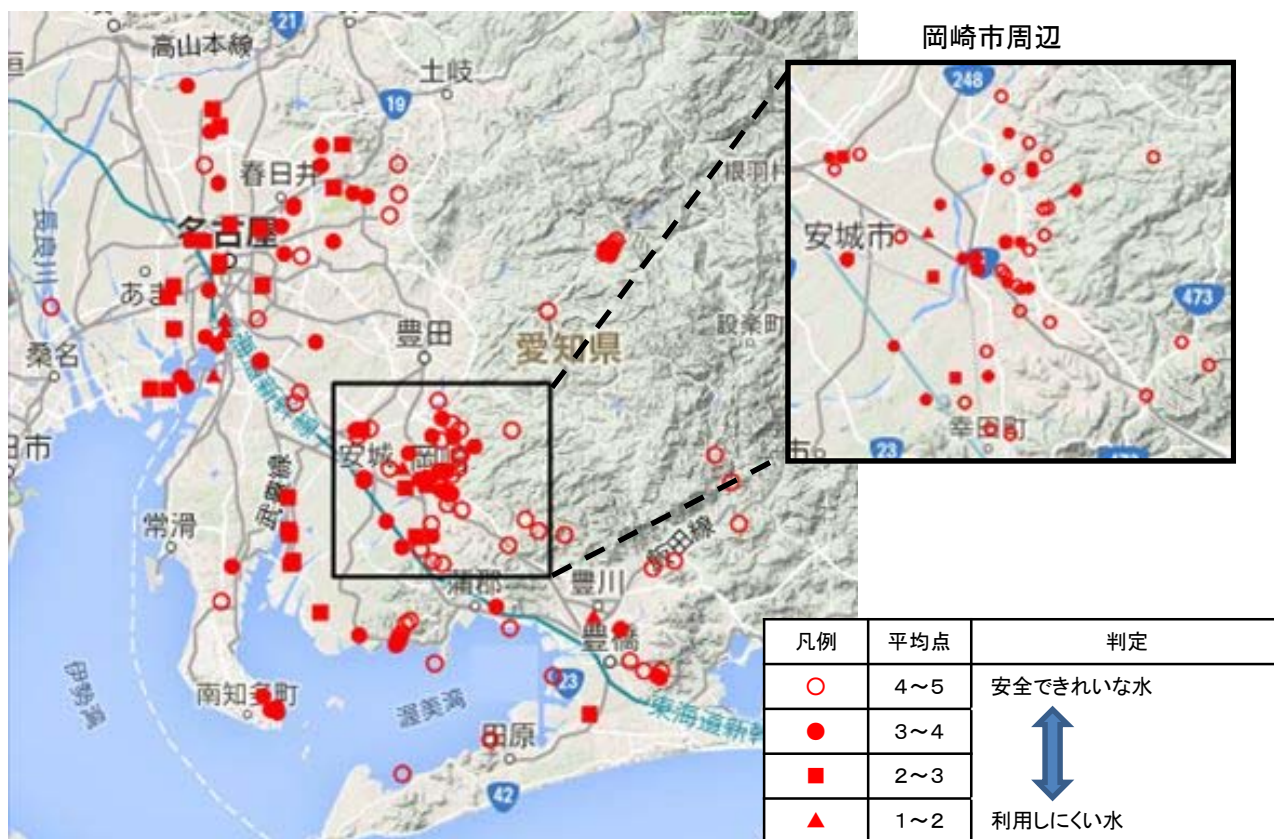
参考(平成26年度)	16(6)	120(48)	691(421)	146(54)
参考(平成25年度)	21(9)	103(47)	913(457)	141(60)
参考(平成24年度)	22(7)	141(44)	1,002(450)	230(64)
参考(平成23年度)	22(8)	134(47)	860(280)	256(103)
参考(平成22年度)	25(9)	103(15)	1,000(266)	210(22)
参考(平成21年度)	25(13)	83(63)	884(389)	287(148)

伊勢湾流域圏一斉モニタリング(中部地方整備局) 水質環境目標値市民モニタリング(名古屋市)の数値を含む。
括弧内は、尾張地域の数を示す。

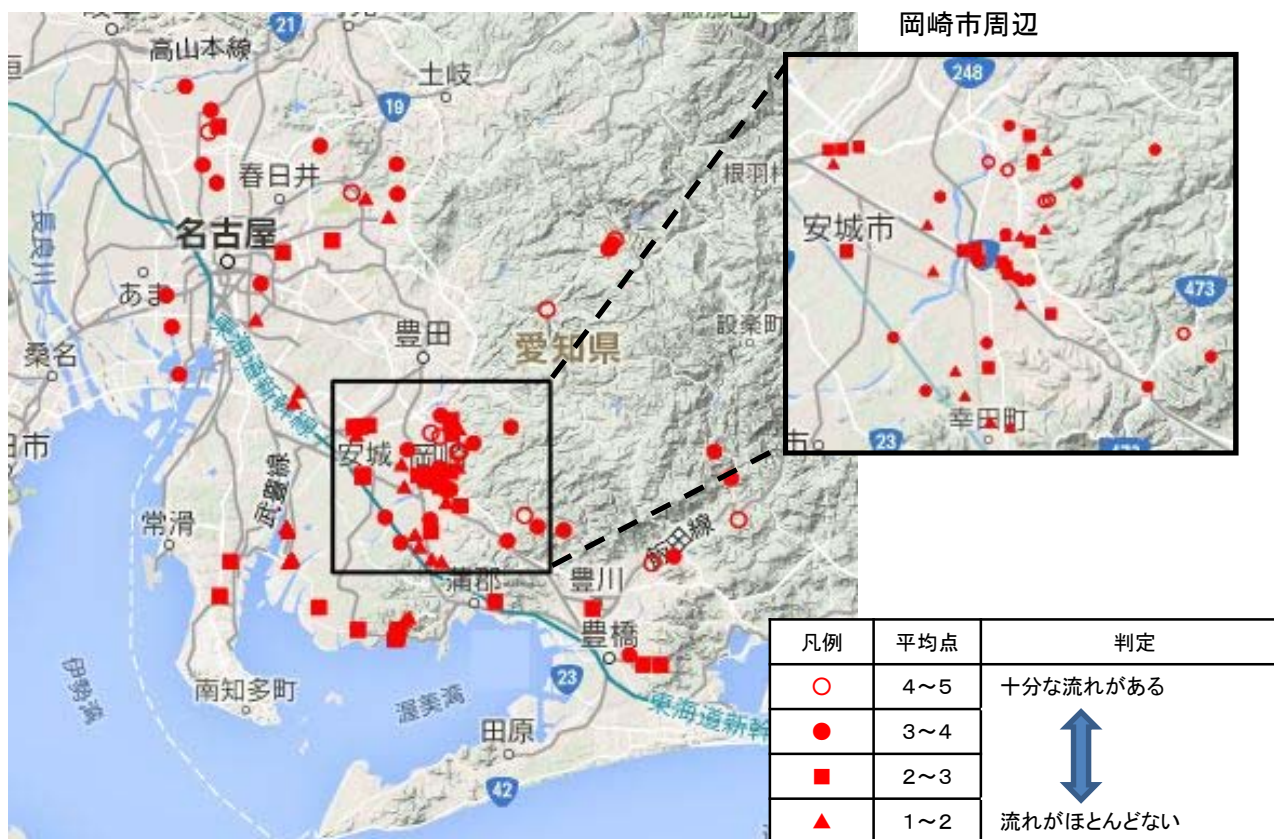
4 調査結果

- 参加団体数、延べ参加人数及び延べ調査地点数は、昨年度より増加しました。
- 流域別の傾向については、豊川・天竜川流域において相対的に評点が高く、項目ごとのバランスも良い結果となりました。
相対的に流量が大きいほど水がきれい、川の水量が安定しており、水辺への親しみやすさを感じているのではないかと推察されます。
- 地域別の傾向については、尾張地域では、流量の大きい河川である木曾川・庄内川等流域においても、西三河地域の矢作川等流域や東三河地域の豊川・天竜川等流域に比べ、やや評価が低い傾向が見られましたが、生物が豊かで、快適な水辺と感じている人も多いです。

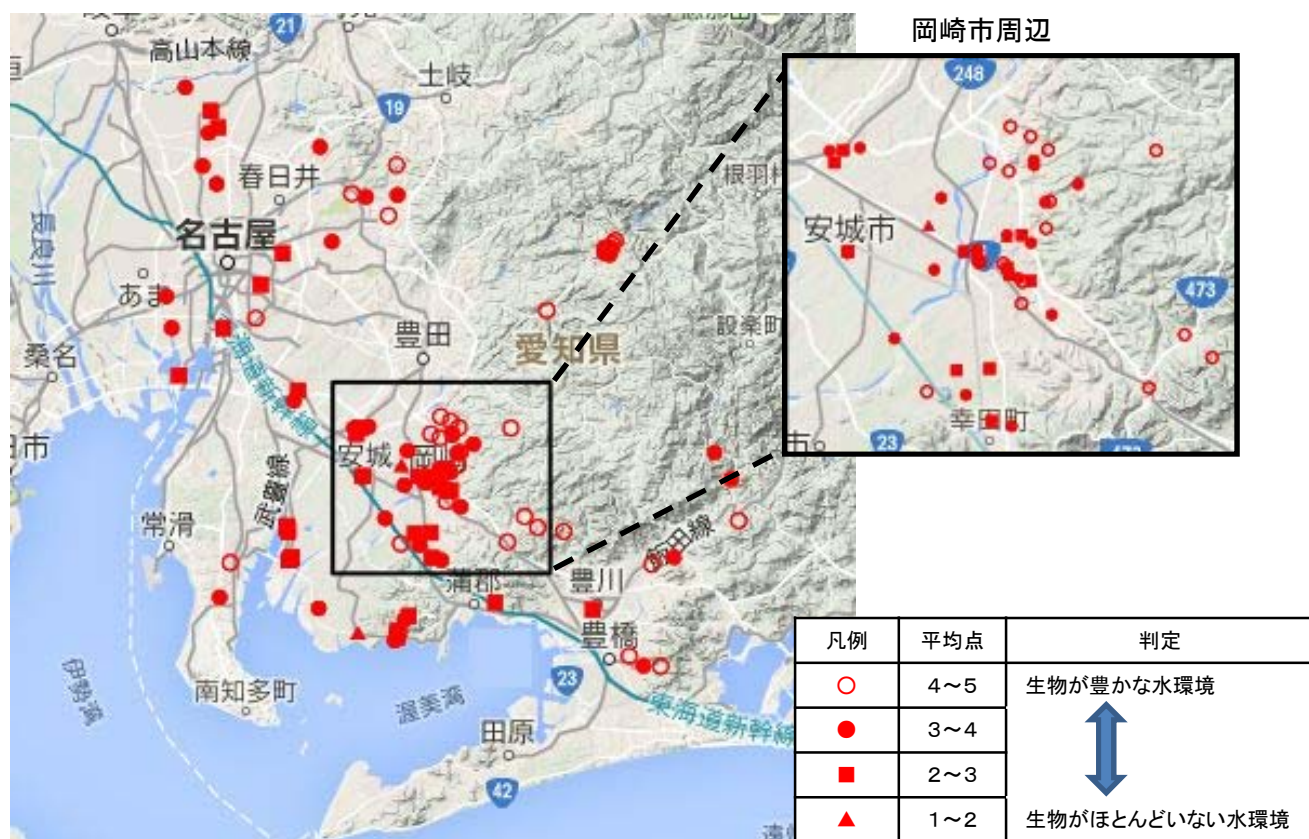
平成27年度 流域モニタリング一斉調査結果（水質）



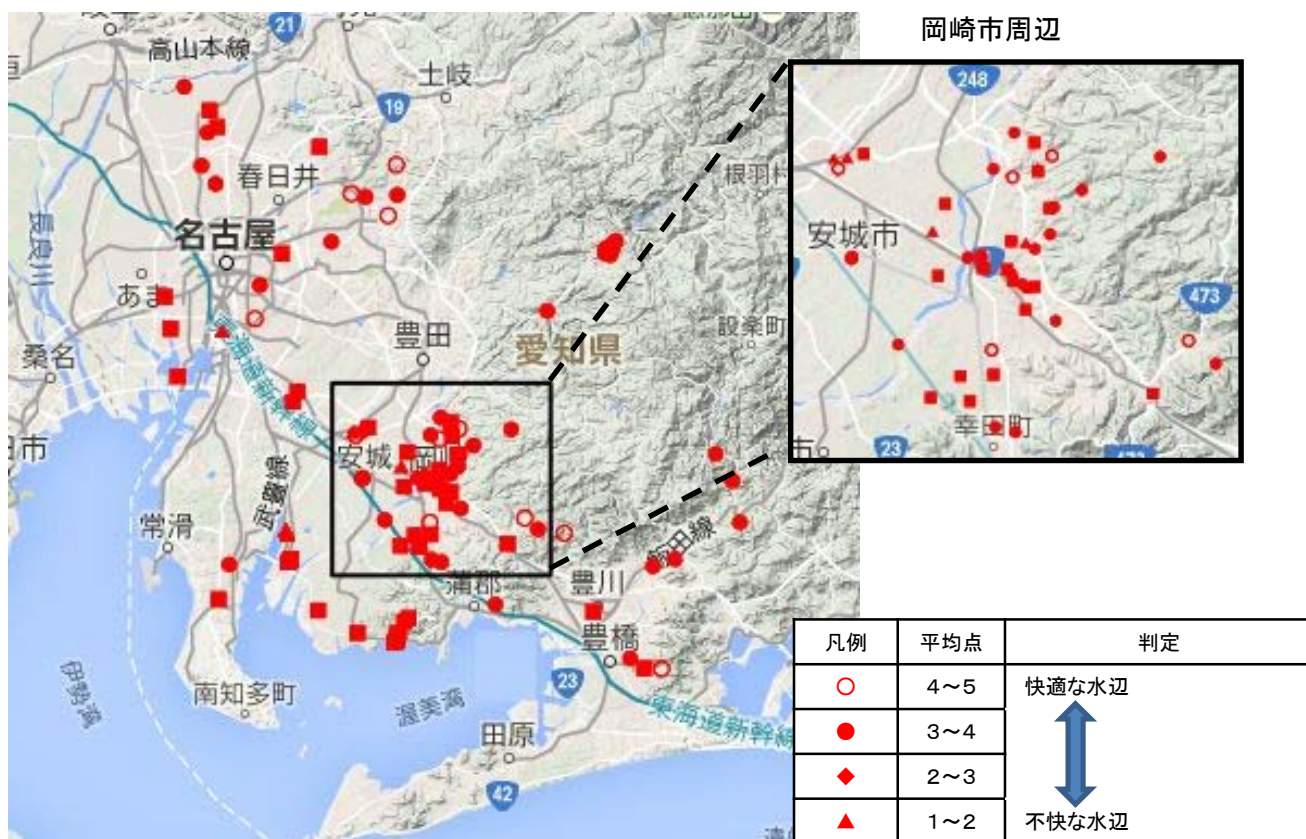
平成27年度 流域モニタリング一斉調査結果（水量）



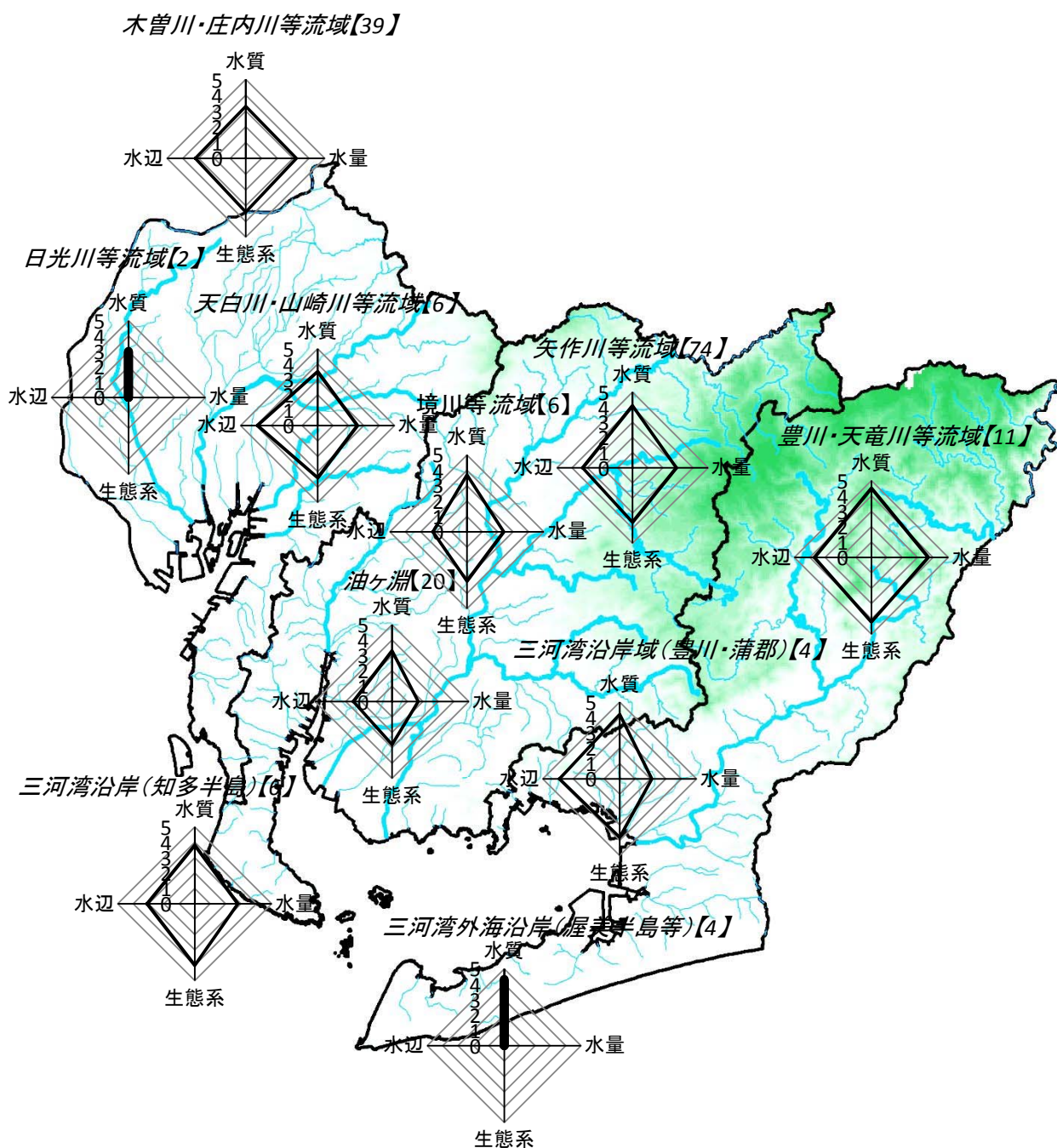
平成27年度 流域モニタリング一斉調査結果（生態系）



平成27年度 流域モニタリング一斉調査結果（水辺）



平成27年度 流域モニタリング一斉調査結果（流域別とりまとめ）



調査項目は参加者の任意であるため、日光川等流域及び三河湾外洋沿岸（渥美半島等）は、水質の評価のみとなっています。